

第29回宮沢賢治賞奨励賞を受賞した沢村澄子が

宮沢賢治作品を書きました。

手のひらに乗る小品から、壁一面の大作まで。

その書から様々な表情の宮沢賢治をご覧いただけるでしょう。

館内のみならず、野外にもユニークなインスタレーション作品が展開されます。

現象的 宮沢賢治——沢村澄子 書展

2022
7/2 sat

10/10 mon

入場無料

宮沢賢治イーハトーブ館展示場ほか

主催▽宮沢賢治イーハトーブ館／宮沢賢治学会イーハトーブセンター

- 「宮沢賢治」をもっと知りたい人のための施設
- 1階／展示室：作品展、原画展などの企画展示／ホール：賢治作品のアニメを連日上映(200席)
- 2階／図書資料室：宮沢賢治資料の公開
- 開館時間／午前8時30分から午後5時(入館は4時半まで)
- 休館日／12月28日から翌年1月1日
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更する場合があります。
- ★ 宮沢賢治に関する図書・絵本などの販売、喫茶コーナーもございます。どうぞお気軽にお越しください。
- 所在地／〒025-0014 岩手県花巻市高松1-1-1
電話 0198-31-2116 FAX 0198-31-2132 URL: <https://kenji.gr.jp>





「ひのきとひなげし」より

沢村澄子 子ども向けワークショップ 「賢治さんのダンボール箱つみき」

2022年7月23日(土)13:30~16:30

- ・小学生~中学生対象
- ・ダンボールに賢治作品などを書き、会場内に積んで共同立体作品とします。
- ・必要な材料はこちらで準備いたしますが、お好みの箱をおもちくださっても結構です。
- ・墨や絵具を使用しますので、汚れても良い服装でいらしてください。

関連イベント

2022年8月27日(土)13:30~

- ・沢村澄子による屋外での公開制作（雨天は屋内）
- ・岡村民夫（宮沢賢治学会イーハトーブセンター代表理事）による講演「宮沢賢治と書 ライフ・オブ・ラインズ」
- ・質疑応答

ワークショップ・各イベント申込は宮沢賢治学会イーハトーブセンター事務局まで。

電話 0198-31-2116 FAX0198-31-2132 Mail kenji.info@kenji.gr.jp



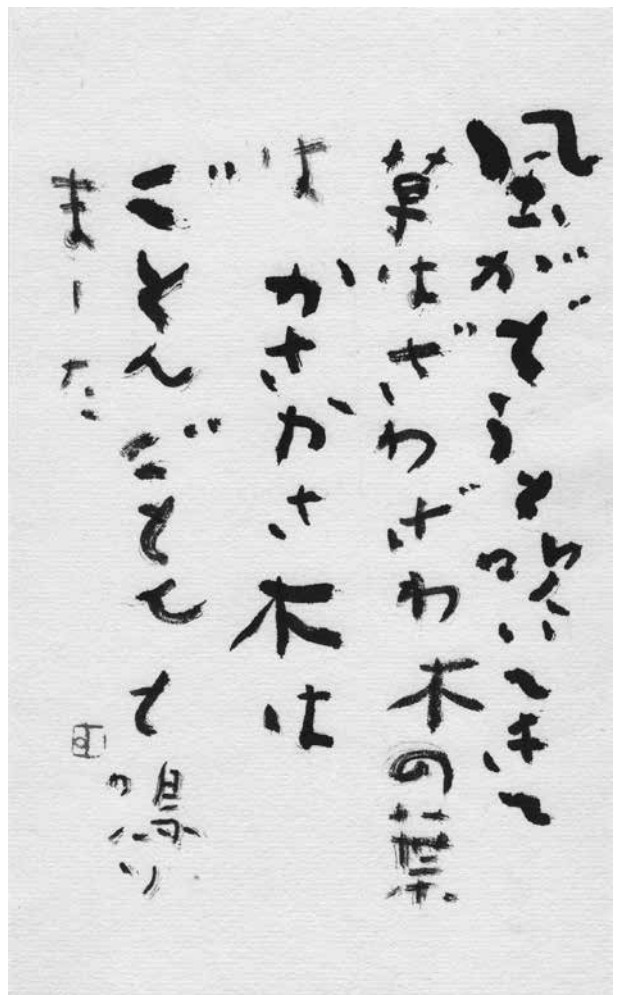
「銀河鉄道の夜」より
スチレン版書

【沢村澄子略歴】

1962年大阪生まれ。新潟大学教育学部特設書道科卒業。高等学校、岩手大学の非常勤講師を経て制作に専念。100回を超える個展を開催する。2001年度岩手県美術選奨、2019年には第29回宮沢賢治賞奨励賞を、共に書の分野から初めて受賞。書の概念を壊し、その本質を問う様々な活動は、野外インスタレーションにまでおよぶ。エッセイ、評論など執筆多数。

「雲はなぜあんなに美しいのだろう」35年前、盛岡に移住した沢村はよく道に佇みその雲を眺めたといいます。時々気温や湿度や風向きなどの現象結果として生まれる雲。ついに「雲は何も表現していないから美しいのだ」とわかった時、沢村の現象的書作は始まりました。

また、沢村は一貫して“場”を重視した制作を続けており、今展でも、天井が高く凸凹のある展示場の特性や館外の緑や風とどのように呼応するのか、宮沢賢治イーハトーブ館で初めてとなるこの書展はユニークで新鮮な空間性を提示することでしょう。また、宮沢賢治作品が活字から手書き文字になることにより新たな表情や意味合いを持ち始め、その書からこれまでに聞いたことのない賢治の音が聞こえてくるかもしれません。“書”をキーワードに、また賢治を問い始めます。



「注文の多い料理店」より